

第 39 回天文学に関する技術シンポジウム開催にあたって

第 39 回天文学に関する技術シンポジウムに参加いただき誠にありがとうございます。

このシンポジウムは、天文学関係の技術者の交流の場として、国立天文台の技術系職員が中心となって長年続けられ、ここ数年は技術推進室が世話人の選出から経費の面などを取りまとめて開催させて頂いています。ちょうど 1 年前のシンポジウム開催に合わせて、前技術推進室長（高見技術主幹）より「天文学に関する技術シンポジウムについての考え」が示されました。その内容は、この技術シンポジウムは技術者の交流の場という役割に加えて、国立天文台の「技術」をどのようにしていくかという視点にたち、現場技術者の目線を活かして議論する場にしたい、というものでした。

今年度の技術シンポはその「考え」に沿って、今回の注目すべき世話人企画として「国際化」をテーマにした企画が用意されました。常田台長を始めプロジェクト長や海外からお招きした国立天文台のキーパーソンとなる方々の講演と、シンポジウム参加者を交えたグループディスカッションを行います。国際化は、国立天文台の研究のみならず、技術という場面でも重要なキーワードです。グループディスカッションでは「国際化」という表面的な事柄以外に、国際化を進める際に現場で生じている問題点なども議論していただきたいと思います。

また、今回のシンポジウムでは世話人企画以外でも、様々な技術報告があります。参加された皆さんの専門分野を越えて議論を行うことによって、技術開発や日々の技術業務の知識情報として活用して頂ければと思います。

盛りだくさんの企画で、都合 3 日間のプログラムとなり、これまでにない有意義なシンポジウムとなることを期待しています。